

サッカーのワールドカップ南アフリカ大会が終わりましたね。約ひとつき、寝不足気味で大いに楽しませてもらいました。

旅行屋の頃、1978年にオランダのアムステルダムに滞在していて、ワールドカップとやらでオランダが大活躍し街中が大騒ぎの光景に遭遇し、ホテルのTVで海外のサッカーの試合を見て、当時の日本の蹴球と呼ばれた日本のサッカーとの違いに驚きました。以来、地味にサッカーとオランダチームのファンをやってきましたが、Jリーグがスタートして実力をつけた日本が本大会に出る夢のような時代になりました。そして、その本大会でまさかのベスト16に入ってくれた日本代表の岡田ジャパン。『感動をありがとう』です。オランダは残念！でした。

【初めてのカシミア受注会】

サッカーのワールドカップが始まるとカシミアの受注会を始めた時のことを思い出します。

カシミア、カシミアと念仏のように唱えながらカシミアにこだわり、一枚一枚作ってほしいとお願いに工場さんを訪ね回った10年間。全部に断られました。ついに一人の職人さんを口説き落とすやうと出来るようになって、カシミア受注会を一番最初に開いて頂いたのが、福井県武生市にあるブティックのギャルソンさんでした。

レ・アールの頃からお付き合いのあるお店で、夏のセールも一段落し、秋物もそろわない閑散期だったのでお店をUTOのカシミア一色で催しました。

期待と不安で迎えた受注会でしたが、初めてながら59枚・200万円を超える受注をいただけて、これで長年温めてきた企画に自信と希望が見えてきて、これで進んでいこうと決断ができた思い出深い受注会でした。

その帰りの武生駅でワールドカップ日韓大会のブラジルとイングランド戦を中継していました。『優美にワールドカップを見せてやるといふ神様のプレゼントだ！』と勝手に解釈して、待合室のテレビを夢中で観戦し、特急列車を2本もやり過ぎしてしまっただけの記憶がよみがえります。

UTO カシミア100% ショールカラーカーデガン

No.12-2109 ¥6,5000.+TAX



大きなショールカラーが優雅なファッションを演出します。伸び縮み自在のニットジャケットはとっても便利です。

カシミア100%・天使カーデガン

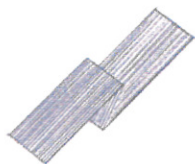
No.10-2102 ¥60,000.+TAX



少し長めのドレープカーデガン。ふんわり柔らかな天使シリーズです。そのまま羽織ったり、ブローチやベルトを使った自由な装いをお楽しみください。

エアカシミア100% リバーシブル 縦ボーダーマフラー

No.92-3015 ¥22,000.+TAX



触った瞬間カシミアの柔らかさを実感する風合い。2色の細い縦ボーダーのマフラー。好きな色でボーダーを組んで自分だけのマフラー。プレゼントに最適です。



クジャクチョウ

あれからもう8年が過ぎ『カシミアオーダーのUTO』と定着してきました。

【南青山界限】

UTOはこんな街から発信しています

青山の風変わりビル

かっこいい・ユニーク・老うい、三つのビル



不景気・不景気といいますがその割には新しいビルが次々に立ち上るの景観が変わります。ね。青山界限も例外ではなく近年随分と変わりました。

その中で『へえー』というようなビルがあります。とにかく他とは変わったビルです。

今回は、僕の選ぶ青山表参道界限の風変わりビルベストスリーを紹介します。

第1棟目は、国連大学校ビルです。この通信の12号(2004年・夏)でも紹介しましたが、青山通りに面していて青山学院の向かい側に、1993年に出来ました。

ピラミッドのような三角形のビルでとってもかっこいい建物で、丹下建三の設計です。

第2棟目は、プラダ青山です。青山通りと表参道の交差点を、表参道通りと反対側のみゆき通りに入ってすぐ。ブルーグリーンのビー玉カラーのビル

なのですぐに分かります。ガラス張りのビルは沢山ありますが、ここはガラスで出来たビルです。もちろん構造上は鉄筋で出来ていてガラスで覆っていて、ガラスだけではないんでしようが、素人の僕が見たところガラスで出来ていると見えます。

プラダはご存知、ミラノが発祥の毛皮の老舗。毛皮がど底の時に3代目のミウシャ・プラダが工業用防水ナイロンでバッグを開発し大ブレイクした。あの逆三角形のマークのブランドですね。このころはトータルファッションとしてここでも各フロアで展開しています。一階や地下の売場ほかからもう透けて見え、僕みたいな貧乏人は『買う人も売る人も結構緊張するんだろなあ』なんて思っています。

設計は、ヘルツォーク&ド・ムーロンというスイスの幼馴染の2人の建築家だそうです。北京オリンピックのメイン競技場、鳥の巣も彼らの設計だそうです。好みとか、街に合う合わないは別にかなり独創的な建物です。2005年の日本建築協会のデザイン賞を取っているそうです。

3棟目は、青山通りに面して、骨董通りとの三叉路の角に建っている紀ノ国屋のビルです。このビルは上の方が広く下が狭いという逆三角形のようなビルなんです。

僕は『よくあんな下が透けそうな所で仕事が出来な』とほんとにも落ち着かない気分です。以前この通信の7号(2003年・春号)で紹介しましたが、紀ノ国屋は日本初のスーパーマーケットながらセレブ御用達の超高級食材店。建て替えの時は、『きつと伝統の紀ノ国屋、青山らしい素敵なビルが建つんだろなあ』と楽しみにしていたのですが、なんとも危ういビルが建ってしまったガッカリでした。



* ファッション販売員のための ニットの話 * (三十三)

CCMIをご存知ですか？

鍾々たるメンバーはカシミア紡績業界のワールドカップ

『UTO』は一枚一枚丁寧な物作りが真実というのとは分けるけど、素材のカシミアのグレードほどの程度なの？と聞かれることがあります。説明しにくいんですが、業界の人には次のように説明するとほとんどの人に合点して頂けます。

CCMI、(カシミア&キャメルヘア・マニユファクチャラーズ・インスティテュート)という高級な糸を紡績している世界的な協会があります。20社にも満たない数ですが鍾々たるメンバーです。

ざっとご披露すると、イタリア代表は織物では世界一といわれるロロピアーナ。ゼニアはシヤネルやアルマーニ等に糸を供給しているし、カリアッチもカシミアでは超有名な会社です。英国のドーソンは元バランタインやプリングルの親会社ですね。早い話がカシミアなど、こだわりの高級糸を作る紡績会社の集まりなんです。

日本代表は2社で、東洋紡糸と深喜毛織です。東洋紡糸は日本で最初にかシミアを紡績した歴史を持つ会社で、世界中の紡績仲間から最高のニットを作る会社と評価されています。UTOのカシミアはその東洋紡糸の糸を使っています。

ふん。『同じ世界最高クラスの原料を使っているなら、有名ブランドは10万円もするのにな、どうしてUTOはそんなに可愛い値段なの？』それを言われたら一言もないのですが...

世界最高峰の原料を使って、ヨーロッパ勢には絶対に負けない丁寧な物作りをしていると自負しているんですが、製造にかかるコストより宣伝や、コレクション等の付加価値の付け方や流通の違いなんだと思っています。

『カサマは許さない』と目を光らせるCCMI

最近このCCMIが知られるようになったのは、カシミア混率問題です。伊勢丹やユニテッドアローズ



等が販売したカシミアの表示が実際の内容と違うという事で、経済産業省から排除命令を受けて大騒ぎになりました。

しかし、よく話を聞いてみると、中には、買いつけた時のサンプルはちゃんとカシミア100%で、バルク(量産現物)の先上げ見本の検査も、100%なので安心して店頭に出して販売した商品が、カシミアが50%しか入っていないなかったというような詐欺まがいのこともあったようです。

これを購入されたお客様が被害者というのではありませんが、アパレルの方も被害でしょう。自分が騙されたら今度は自分が加害者になりかねないカシミアの怖さを痛感する事例です。

一方、こんな事件が多発してカシミアの検査が俄然厳しくなりました。万が一に備えて店頭で販売するカシミア商品すべてに公的機関の証明書の提出という風潮になりました。その証明書は2万円前後もするんです。

一例ですが、ある大手小売店で販売するのにな、ヨーロッパからの輸入品を少量しか販売しないのに1着10万円以上もする商品を切って検査に出して証明書を取ってからでないと店頭に出せないという、なんとも殺伐とした状況が発生したそうです。

こんな事が起こったことで、今度は公正取引委員会から、小額の取引に対して多額の検査費用を要する証明書の要求は優位的地位の乱用などの不正競争防止法に抵触するという通達が出されるという顛末まで発生してしまいました。

カシミアは高価なゆえに悪徳業者に狙われる素材です。自分の取引先は信頼できてその人が騙されていたら皆が被害者や加害者になりかねません。だから原毛から製品まで素姓のはっきりした信頼できる相手との取引引きが何より大事なんです。

忙中暇話・ニット屋のたわごと

大賑わいの 深大寺と 神代植物公園



小金井に住んで約20年。通勤時間が長くてうんざりですが、緑の環境の良さになかなか離れられませぬ。休日には好きな自転車で緑の公園を散策するのが楽しみです。

家からすぐ近くに野川という小さな川が流れています。川原に自然が残り良く整備された側道を走るのはとても気持ちの良いものです。

下流の武蔵野公園や野川公園によく行きます。また、年に1~2回は遠征して味の素スタジアムにFC東京の応援に行くこともあります。

花の時期などは足を延ばして神代植物園(正式には神代植物公園)もサイクリング範囲です。2~3年前までは年間パスポートを持っていたんですが、結局年に4~5回しか行かないので辞めてしまいました。

神代植物園は裏門(深大寺門)に隣接して深大寺があり、再入園が出来るので僕の中では神代植物園と深大寺はセットです。

深大寺は8世紀の天平時代に開創されたという古いお寺で、こちら辺では有名なんですがまだ全国区まではいつていないのが残念です。

神代と深大寺。同じ京大なんですが、植物園は神代でお寺は深大寺です。明治以前は深大寺村だったそうですが、明治期に近隣の村が合併して神代村になり、その頃に出来たのが神代植物公園という名前になったとか。

僕のサイクリングのシンダイコースは、植物園で花を見たり、緑の森を歩いたりした後、お昼を深大寺の周りにある名物のお蕎麦を食べて帰るのが楽しみです。

今年5月中旬の週末、植物園に着いてビックリしました。入場券をかうのに長蛇の列です。調布や三鷹から到着するバスも超満員。今まで40~50回回来は来ていると思いますが、一年で最も賑わうバラの季節の週末と言えどこんなに混んでいるのは始めての経験です。裏の深大寺の門前もまるで原宿の竹下通りようです。

どうしてこんなに人が多いんだろうと不思議でしたが、蕎麦屋さんの前の旗幟で気付きました。『ゲゲゲの女房』の文字です。そうかNHKの朝のドラマの舞台が調布だったんだと。もちろん普段はこの番組を見る機会はないんですが、休日の再放送でやっと見たことがありました。その一面は植物園裏の蕎麦屋さんの前でのシーンで、あ、あの蕎麦屋の前だ」と気付いた覚えがあります。

NHKの朝ドラの影響の凄さを認識しました。

世界のホテルを旅する (三十三)

元、旅行屋のお勤め ノティンガム・英国

エルサレム

「ゴルフ場のように美しい牧場に点々と白い羊が草を食む光景が続く英国のカントリーサイド。そんな美しい環境に英国の工場はありました。」

英国のハイゲージニットは、F(エフ)というニット機でヒゲ針という特殊な細針を使って、一度に何枚ものセーターを編めるというのが特徴で、英国の十八番のニットなんです。

このときの訪問は仕入れが主でした。英国のニット工場見学なら楽しいし、自分の好きなものを自分のお金で買いたいものなら嬉しいんですが、お買い物でも一人別室で緊張の中で、何千万円もの仕入れとなると神経も疲れます。この日は、ジョンズメドレー、コックスモア、パイフォードと英国が得意のハイゲージニットの工場を駆け回りクタクタでホテルに入りました。

ホテルに着いたのは8時過ぎ。

『結構古いホテルだなあ、田舎のホテルだから仕方ないや』というのが第一印象でした。もう遅いし、夕食を食べる外に行く元気がないのでホテルにあるバブ兼レストランで食べようよ』ということになりました。



中に入るとこんな小さな街の何処から集まってきたんだろうというような面白い人、煙草の煙や賑やかな会話。結構出来上がった話し声も大きくなっている人も多く、これが英国のバブかと感心することしきりです。

飲めない僕以外は本場のバブのラガービールで乾杯! 食事だかつまみだか分からないようなメニューでお腹を誤魔化して、明日も早いということで早々に就寝。

朝は早いのが習慣になっているので6時ごろには目覚めました。せっかく訪れた街とホテルだからホテルの周りを歩きたいと外へ出てホテルを振り返るとホテルの壁にエルサレム OLDEST INN ENGLAND の文字。

『ナニ? そんなホテルに泊まったんだ!』不覚でした。昨夜入った時は古くて狭いというぐらいで、疲れてすぐに寝たのでまさかそんな歴史あるホテルだとは思いませんでした。

クラシックホテルは興味ある人にとっては夢のホテルですが、興味や知識がない人は古臭い不便な宿泊施設に過ぎないと思います。今回は仕事のことしか頭になかったため、ホテルの下調べもなく、泊まった時に色々聞く機会を逃したのが悔い残るばかりです。エルサレムは、その気になってもう一度泊まって、そして由緒伝来を根拠に聞いてみたいホテルです。